

# これからのロータリーを考える

クラブ研修リーダーセミナー

2016.7.30

国際ロータリー第2790地区

ロータリー情報研修委員会

# ロータリー研修委員会

地区管理運営統括委員会に所属  
奉仕プロジェクト統括委員会と連携

ロータリー研修委員会 ◎白鳥政孝PDG

○諸岡靖彦 土屋俊夫 松田泰長 今野文明

RLI日本支部地区代表委員 関口徳雄PDG

RLI小委員会

○海寶勘一 金子公久 清田浩義 藤原和子

# ロータリー研修委員会の使命

以下の点でクラブをサポートします

- クラブの維持・発展のためにロータリーの基本理念と思想を理解する
- ロータリー情報の徹底化のために考えて話し合い、モチベーションを高める為にRLIがお手伝いをいたします
- RLIのプログラム運営と活用の範囲を拡げる
- クラブの入会資格が大幅に緩和された現在、ロータリーのアイデンティティを確立し、中核的価値観(奉仕、親睦、高潔性、多様性リーダーシップ)を養う

# 新しい制定案とクラブの対処

2016年規定審議会（ロータリーは何処へ行く）

- 新クラブ定款が示されました
- クラブ細則は定款から逸脱しない範囲内で、クラブの裁量に委ねられます
- これは自クラブの新たな立上げのチャンスです
- ロータリーの理念・思想・哲学に変わりはありません
- 細則を決める際に十分ご留意ください

# 国際ロータリーの戦略計画と中核的価値観



# 戦略計画

## 価値観を行動に

私たちは、親睦を通じて生涯にわたる友情を育み  
国や文化を超えた理解を促します

私たちは、高潔性をもって約束を守り抜き  
倫理を高めます

多様性を誇るロータリーは、さまざまな考え方を  
つなぎ多角的なアプローチで問題に取り組みます

私たちは、奉仕を通じてリーダーシップと職業の  
スキルを生かし、地域社会の問題に取り組みます

# 中核的価値観；Core Values

1. 奉仕 Service
2. 親睦 Fellowship
3. 多様性 Diversity
4. 高潔性 Integrity
5. リーダーシップ Leadership

# 1. 奉仕 Serviceとは

## 「ロータリーの目的」

「ロータリーの目的は 奉仕の理念を  
奨励し これを育むこと」

## 「奉仕の理念」

“The Ideal of Service”



# アーサー・フレデリック・シェルドン



- 1868年 ミシガン州  
バーノン生まれ
- ミシガン大学経営学部修士  
課程で販売学専攻
- 図書販売のセールス・  
マネージャー
- 1899年 出版社経営
- 1902年 ビジネス・  
スクール開校
- 1908年 シカゴRC入会

# Serviceにける正しい質・量・行動とは

- 高い品質 適正な価格
- 豊富な品揃え
- 経営者・従業員の適切な接客態度
- 公正な広告
- 豊富な商品知識 高度な専門知識
- 十分なアフターサービス

顧客本位の経営・高信頼企業

” He profits Most Who Serves Best”

# ロータリーにおける「奉仕」 “Service”の現代的意味

初期ロータリーでは、正しいビジネスの方法としてサービスを考えていた

活動分野の広がった現代のロータリーでは、ロータリアンの中心的行動原理として最も広い意味で使われるようになっていく

「社会に役立つ価値を提供すること」

「世のため人のためにつくすこと」

# ロータリーのモットー（標語）

1. “Service Above Self” 「超我の奉仕」

サービス第一 自己第二  
自己に先立つサービス

2. “He Profits Most Who Serves Best”

「最もよく奉仕する者 最も多く報いられる」

最善のサービスをすれば 結果として最大の  
利益が得られる

# 四つのテスト



ハーバート・テラー

1954年 RI会長

1932年

倒産寸前のアルミニウム会社再建のために考え実践したスローガン

1954年

その版權をRIに寄贈

# 四つのテスト The Four-Way Test

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか

(うそ・偽りはないか)

2. みんなに公平か

(関係者すべてに公明正大か)

3. 好意と友情を深めるか

(信用を高め より良い関係を築けるか)

4. みんなのためになるかどうか

(関係者すべてに有益か)

# ロータリーの目的 Object of Rotary

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- 第3 ロータリアン一人一人が個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

# ロータリーの奉仕活動

- 奉仕の理念に基づいた奉仕活動の実践
- 個人奉仕と団体奉仕
- 奉仕活動  
家庭 職場  
地域社会 国際社会

「入りて学び 出でて奉仕せよ」  
“Enter to learn , go forth to Serve”



# 人道的奉仕活動の場の拡大

地域社会

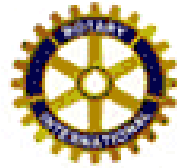
国際社会

社会奉仕

国際奉仕

ロータリー財団

人道的 教育的 奉仕活動



# ロータリーの樹



出典：2008年国際協議会 渡辺好政元R | 理事

# ロータリー財団

The Rotary Foundation  
of Rotary International

## 国際ロータリーのロータリー財団の使命

ロータリアンが、健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること

# 国際ロータリーの常設プログラム

インターアクト Interact

ローターアクト Rotaract

ロータリー地域社会共同体

Rotary Community Corps

ロータリー友情交換

Rotary Friendship Exchange

ロータリー青少年交換

Rotary Youth Exchange

ロータリー青少年指導者養成プログラム

Rotary Youth Leadership Award  
(RYLA)

公益財団法人  
ロータリー米山記念奨学会

“日本のロータリーの父” 米山梅吉の遺徳を記念  
して始められた奨学金制度  
日本独自の多地区合同奉仕活動

主に発展途上国の外国人留学生に支給される民間  
最大の奨学金制度

指定校による推薦者の中から選考し、世話クラブ  
とカウンセラーを決めて奨学生を世話し交流する

## 2.親睦 Fellowshipとは

「奉仕」と「親睦」はロータリーの2本柱

Fellowship = 仲間であること仲間同士の親交  
と友情

“Fellowship Through Service”

(ローターアクトの標語)

Fellowshipとは「奉仕の理念」を共有する仲間  
同士

例会や奉仕活動はFellowshipを育む場

# なぜ例会出席が大切か

- Fellowshipを育む場

- 会員の平等性

世俗の上下関係を持ち込まない

- 多様性の確保

- 仕事上の発想の交換

- ロータリーの理念と奉仕の心の研鑽

- 学習と自己啓発

## 3. 多様性 Diversity

- 職業分類

ロータリーは異業種の集まり

- 年齢 性別 国際性

1989年女性に門戸を開く

- 200以上の国と地域

- 多彩な奉仕プログラム

- 多様性は組織のエネルギーの源泉



## 4 .高潔性 Integrityとは (1)

Integrityという英語にあたる日本語はない

Integrity=the quality of being honest and  
having strong

誠実であるとともに強固な倫理原則を維持できている状態

「インテグリティ」の本来の意味は「言うこと」と「行うこと」とが一貫しそこにブレが無いこと

「誠実である」

## 高潔性とは（２）

一貫した「誠実さ」「真摯さ」「高潔さ」など  
リーダーシップ発揮に不可欠な

「人徳」・「人間力」

「人徳」は修得することが出来る！

## 5. リーダーシップ Leadershipとは

ロータリーは“Leadership”という言葉よく使う

- 地区リーダーシップ・プラン

District Leadership Plan DLP

- クラブリーダーシップ・プラン

Club Leadership Plan CLP

- クラブ研修リーダー・セミナー

- ロータリー・リーダーシップ研究会

Rotary Leadership Institute RLI

# ロータリーにおけるリーダーシップ

- ロータリークラブは 権限を持った固定したトップが指示・命令する組織ではない
- 会員の平等・対等な関係が前提にある
- クラブの組織力を高めるためには 会員全員の合意形成・対話・協力が重要である
- 会員それぞれが、必要に応じて個性と能力を出してリーダーシップを発揮するよう期待されている

# 中核的価値観は（まとめ） SFDIL

ロータリアンが共有すべき  
価値観であり行動規範である

- |            |            |
|------------|------------|
| 1. 奉仕      | Service    |
| 2. 親睦      | Fellowship |
| 3. 多様性     | Diversity  |
| 4. 高潔性（人徳） | Integrity  |
| 5. リーダーシップ | Leadership |

# ロータリーの魅力

- ロータリーの「奉仕の理念」は顧客本位の経営  
高い信頼企業への道
- 仲間 同志としての連帯＝「親睦」
- ロータリーは異業種交流会の先駆け
- クラブは「学習する場」「人生の道場」
- ロータリーの人的ネットワークは 国・宗教  
人種・性別・職業を問わない

# ロータリーの可能性（1）

## ロータリアンとしてなすべきこと

- 自分の職業のサービスレベルを高める

**本業で社会貢献**

- 地域社会の発展を後援する
- 魅力あるクラブを作り同志を増やす
- 国際理解と世界平和への寄与
- ロータリーを生きる

# ロータリーの可能性（2）

## ロータリーはひとつの生き方

- ・ロータリーは「奉仕の理念」の実践が、社会の中で自分の道を生かす道であり社会を良い方向に導く力を持っていることを信じよう



# ロータリー研修の意義

- ロータリーの基本理念と思想を理解し身につける
- ロータリーのResource資源（人、物、金、情報、制度、仕組、ネットワーク、）を知る
- ロータリーの組織構造をわきまえる
- ロータリーの情報を探り入れて、クラブで同志と語り合う：国際大会 地区大会 規定審議会  
ロータリーの雑誌 My Rotary
- クラブの地域で、地区でロータリーらしい奉仕の実践を話し合う

# ロータリー研修委員会の使命（再確認）

以下の点でクラブをサポートします

- クラブの維持・発展のためにロータリーの基本理念と思想を理解する
- ロータリー情報の徹底化のために考えて話し合い、モチベーションを高める為にRLIがお手伝いをいたします
- RLIのプログラム運営と活用の範囲を拡げる
- クラブの入会資格が大幅に緩和された現在、ロータリーのアイデンティティを確立し、中核的価値観（奉仕、親睦、高潔性、多様性リーダーシップ）を養う